

○ 巡回展開催に関する助成プログラムは3種類 (A・B・C)
その他、普及プログラムへの助成もあります (D)



C 公立美術館
共同巡回展
企画支援事業

展覧会開催に向けた企画検討
や調査研究のための助成

A 公立美術館
共同巡回展
開催助成事業
(2か年プログラム)

出品交渉やカタログ作成等の準備から
展覧会の開催まで2か年にわたる助成



B 公立美術館
共同巡回展
開催助成事業
(単年度プログラム)

作品借用・展示経費
OR
図録作成経費
いずれかに助成



D 公立美術館
共同地域交流プログラム
助成事業

展覧会に関連した
ワークショップ等の
地域交流プログラムへの
支援

A B

公立美術館 共同巡回展開催助成事業・・・ (2か年・単年度)

○対象

都道府県、政令市、市区町村設置の美術館
3館以上で申請可



○支援内容 (2か年・単年度)

2か年プログラム

助成率： 準備年度 2/3
 開催年度 2/3

※対象経費の合計額から事業収入を
控除した額の2/3まで助成

上限額： 準備年度 150万円
 開催年度 2,000万円

助成期間： 2年間
※1年目は企画の具体化や調査研究、
出品交渉等の準備作業を行う。
2年目に巡回展を開催する

公立美術館のコレクションを活用した巡回展への支援 準備年度から支援する2か年プログラムと、開催年度の一部 事業費を支援する単年度プログラム

※採択された企画の参加館は実行委員会を組織し、展覧会を開催する

過去の実績

「墨は流すもの—丸木位里の宇宙」 (2か年プログラム/2019~2020年度)

奥田元宋・小由女美術館、富山県水墨美術館、一宮市三岸節子記念美術館

「ニューヨークアートシーン—ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで—
滋賀県立近代美術館コレクションを中心に」 (単年度プログラム/2019年度)

鳥取県立博物館、和歌山県立近代美術館、徳島県立近代美術館、埼玉県立近代美術館

単年度プログラム

助成率： 開催年度のみ 2/3

上限額： A 作品借用・展示関連 500万円
 B カタログ作成関連 300万円

※申請時にA・Bどちらか一方を選択する
※総支出を助成金を含む総収入が超えない範囲とする

助成期間： 1年間

C 公立美術館共同巡回展 企画支援事業

巡回展開催に向けた
企画検討や調査研究のための助成プログラム

○対象

都道府県、政令市、市区町村設置の美術館
2館以上で申請可



○事業内容

美術館の収蔵品を活用した巡回展の企画検討

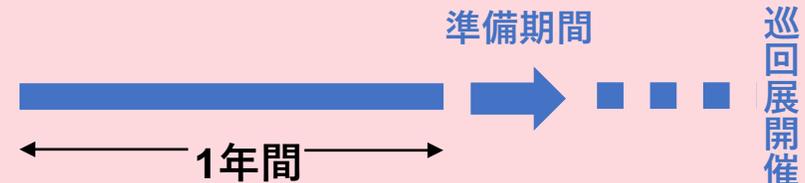


○支援内容

- ・100万円上限（助成率：10/10）
- ・アドバイザー等の派遣

【特徴】

地域創造の他の助成プログラムも利用することで
最大3年間で巡回展開催までを支援します



公立美術館共同巡回展
企画支援事業 + 公立美術館共同巡回展
開催助成事業（公美巡）
[単年度・2か年]

引き続き、
地域創造の助成に
申請可能

過去の実績

2015年度

蘭島閣美術館（広島県呉市）、新見美術館（岡山県新見市）

※2017年「日本画山脈 再生と革新～逆襲の最前線」開催（公美巡 [2か年]）
蘭島閣美術館、新見美術館、唐津市近代図書館、八幡浜市民ギャラリー

2017年度

奥田元宋・小由女美術館（広島県三次市）、富山県水墨美術館（富山県）

※2020年「墨は流すもの一丸木位里の宇宙」開催（公美巡 [2か年]）
奥田元宋・小由女美術館、富山県水墨美術館、一宮市三岸節子記念美術館

D 公立美術館 共同地域交流プログラム 助成事業

所蔵作品等を活用した展示に関連した
地域交流プログラムに支援

※ワークショップ等の体験型事業、ギャラリートーク等の
双方向的な鑑賞支援事業といった普及関連事業

※展覧会は巡回展である必要はありません

○対象

都道府県、政令市、市区町村設置の美術館
2館以上で申請可

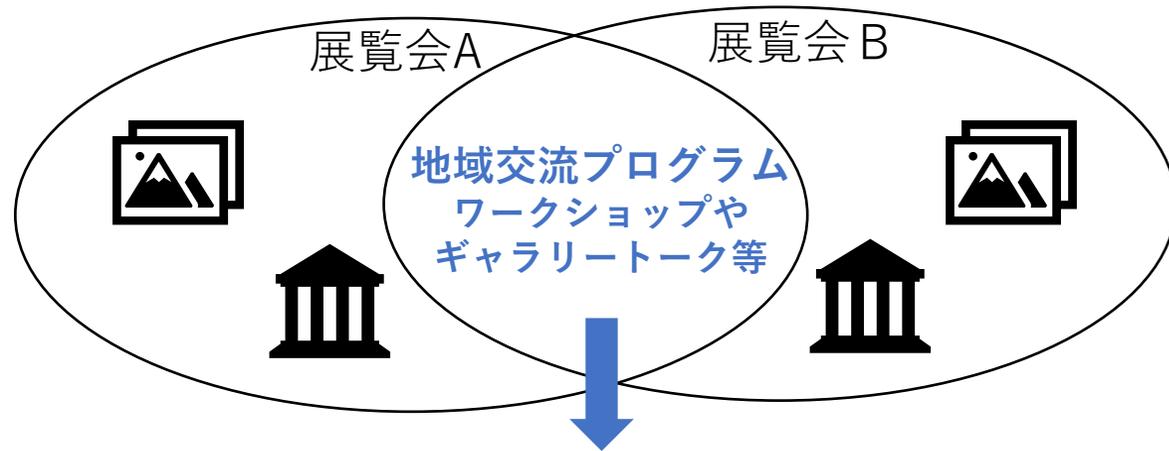


○対象事業

展覧会に関連した地域交流プログラム

○支援内容

100万円上限（助成率：10/10）



展示に共通するテーマ（作家、技法、様式等）
に基づき2館以上の美術館が共同で企画・実施

過去の実績

2016年度

たつの市立龍野歴史文化資料館（兵庫県たつの市）、
相生市歴史民俗資料館（兵庫県相生市）

「忠臣蔵から村文書まで」

講演会・意見交換交流会、フィールドワーク、ギャラリートーク